



150周年横断幕



その立場立場でなくしてはならぬ人になる

発行 平戸市立平戸小学校 文責 校長 永田健治

児童数 347名 教職員数 36名

創立150周年



発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230 E-mail：hirado-es@hirado.ed.jp ホームページ：「平戸市立平戸小学校」で検索



# 明日から44日間の夏休み

## どんな思い出ができるかな

いつもより2日長い

本日終業式を行いました。一学期の間、子供たちの命に関わる大きな事故・事件なく過ごせたことや子供たちの成長する姿を間近に見ることができ教職員と共に喜んでいきます。

これも保護者、地域の皆様方の温かい御支援と励ましのおかげです。心から感謝申し上げます。明日から例年より2日長い夏休みが始まります。子供たちの大歓迎とはうらはらに、



保護者の皆様はお昼ご飯の用意などで大変という声も聞かれます。(日頃の給食のありがたさを私自身感じております。)

様々な思いがある？夏休みですが、子供たちが、普段の学校生活ではできない体験活動、遊び、学びを通して、心と体がさらに成長することを楽しみにしています。

## 県学力調査の結果

令和6年度の長崎県学力調査の結果をお知らせします。

本校の平均正答率は5年国語、算数、6年理科とも県平均正答率を下回りました。主な課題としては、国語は「目的を意識して聞きたいこと」の中心を考

必要なことを整理すること、算数は「三角形の定義や性質、組み合わせで図形を構成すること」、理科は「液体、固体、気体の状態変化のしくみを理解すること」などがあげられます。成果としては、例年課題であった、国語の「条件に合わせて書く

## 交通少年団夏の出勤

7月17日(水)、18日(木)、夏の交通安全週間(7/13~7/19)の取組として、交通少年団が出勤しました。春に比べて旗の振り方や笛の吹き方が上達していました。

保護者の皆様にも一緒に立哨していただき感謝しております。

夏の交通安全週間の重点目標は「こどもを始めとする歩行者の安全の確保」「全ての座席のシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」



「飲酒運転の根絶」です。また、自転車に乗るときにはヘルメット着用を指導しています。まずは、大人である私たちが交通安全の手本となりましょう。

## 着衣泳体験

令和5年夏期(7月~8月)の期間、全国における中学生以下の水難事故は、発生件数

ます。なお、個人票を配付しますので、御家庭でも達成状況を確認し、励ましの声かけをお願いします。



49件、水難者106人うち死者16人、行方不明者は16人でした。

本校では、6年生が水泳指導の最後に着衣泳を行っています。着衣のまま水に落ちてしまったとき「慌てずに浮いて、待つ」、無駄な動きをせずにできるだけ長く浮いて助けを待つ経験をさせます。

保護者の皆様においても水難を未然に防ぐために、子供だけでは水遊び等を絶対にさせず、泳げない子にはライフジャケットを着用させ、子供から目を離さないようお願いいたします。



# 中学生職場体験

7月3日(水)～5日(金)の3日間、平戸中学校の2年生4人が平戸小学校に職場体験に来ました。1年生と2年生の教室に入り、子供たちのプリントの付けや、水泳指導の手伝い、休み時間の遊びなどを体験しました。授業中、姿勢が悪い子や集中できない子に声をかけるなど学校にとって即戦力の働きぶりでした。4人中1人は、将来教職を目指しているとのことでした。



# 通知表の見方

本日お配りしました通知表の見方について

説明します。  
 【学習の様子】は目標に準拠した評価、いわゆる絶対評価を取り入れています。  
 絶対評価とは、学級集団の中で、「 $\cup$ 」「 $\cup$ 」を決めて行う評価ではなく、児童一人一人の学習状況を、学習指導要領に示す目標に照らし、達成度で評価します。「 $\cup$ 」十分達成している」と判断されるも  
 の「 $\cup$ 」(90%以上)、「 $\cup$ 」(70%以上)、「 $\cup$ 」(70%未満)の三段階で評価したものです。各評価の人数は決まっています。90%以上達成していれば、人数に関係なく「 $\cup$ 」の評価となります。絶対評価では、子供の個々の能力や成長を重視し、公平な評価を行うことが目的とされています。  
 (1年生は一学期の



み「 $\cup$ 」(70%以上)と「 $\cup$ 」(70%未満)での評価)  
 【生活の様子】は各項目の目標と照らし合わせ、子供の様子について観察による個人内評価を取り入れています。個人内評価とは、他者との比較ではなく、子供ごとのよい点や可能性、進歩の状況などを積極的に評価します。「 $\cup$ 」「 $\cup$ 」で行いますが、あくまでも個人内評価ということ、一学期は、その子のなかで「特によい」の「 $\cup$ 」は多くても4個から5個くらいにしています。二学期からは意欲を高めていくために、「 $\cup$ 」の上限を増やしていく予定です。なお、子供自身が書いた一学期の振り返りもお届けしています。こちらにも目を通していただき、励ましの声かけをお願いします。



4年生の授業の様子

# デジタル依存症

44日間の夏休み、子供たちはどんなことをして過ごすのでしょうか。心配していることがあります。それは、子供たちのスマホ、ゲームによるデジタル依存症です。



現在、スマホやタブレットの長時間使用が原因としたさまざまな弊害が、「スマホ脳」や「不登校関連」の書籍から報告されています。それらの書籍によると、スマホやタブレットを取り上げられて大泣きしたり暴れたりするのは、すでに依存症の疑いがあるそうです。ステイブン・ジョブスは10代の子供たちに対してタブレットの使用時間を厳しく制限していました。ビル・ゲイツは自分の子供が14歳になるまでスマホは持たせなかったといわれています。スマホやタブレットが子供に与える悪影響(集中力が続か

ない、好きなことしかない、キレやすい、指示が聞けない...など)をわかっていたからです。  
 デジタル依存症は近年、急速に増加している子供の発達障害もどきや不登校の主な原因とも関係が深いといわれています。スマホやタブレットは子供の「衝動を抑制する力」を育む前頭葉(脳の一部)の働きを鈍化させることがわかっています。長時間の使用により子供たちは、衝動を抑える力(脳)の発達が遅れ、友達とのトラブルや授業に集中できない一因となっているそうです。  
 また、不登校期間中の子供たちが家でやっているのはYouTubeやTikTokなどの動画視聴やゲームという報告があります。学校に行きたくないきっかけは様々ですが、学校を休んで家で制限無しに動画視聴やゲームを続けているう



ちに依存症になる子供が多いそうです。特に不登校に対する相談では、専門家等から「ゲームが好きなら、やらせてあげてください。」「しばらくは見守りましょう」と助言される傾向にあります。制限なくやり続けているうちに依存症になっていく事例も多いようです。寝不足や昼夜逆転にもなり、朝起きられず再登校はできなくなるといった悪循環も...。  
 ただし、デジタル依存症による発達障害もどきや不登校の子供に対して、スマホやタブレットの使用を制限することで改善した事例も多く報告されています。睡眠時間が十分に確保されることも改善の要因の一つです。  
 44日間の夏休み、子供たちがデジタル依存症にならないよう、ご家庭でのルールをもう一度確認してはいかがでしょうか。

